

認定 NPO 法人 しーぱお



活動報告書

2018年1月～12月



子育てをサポート!



C-PAO
認定NPO法人 しーぱお

代表メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 スタッフメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 2018年活動報告 / マンスリー・・・・・・・・・・ 4
 2018年度活動報告 / 各事業・緊急サポート・・・・・ 6
 ひと月の活動イメージ・数字で見る活動報告・メディア掲載&寄稿報告・・・・・・ 7
 特集 子どもの声 / 子どもの権利ワークショップより・・・・・・ 8
 今後の展望 / 新プロジェクトのご紹介・・・・・・ 10
 決算報告と概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

＊＊ CPAO の活動をささえてくださるみなさま、ともに子どもたちをサポートくださり感謝しています。＊＊

代表メッセージ

「大事なことは何にも変わってないですね」

これはCPAOを活動当初、2013年から応援し、変化を見守り続け、目の前の子どもたちやお母さん方に「これぐらいでいいだろう」ではない、たくさんのおいしいものや珍しいものを全国からお届けくださり、週に1,2回と子どもたちを「感動させたい」とごちそうをつくっては、みなを喜ばせ続けてくださっていた方の言葉です。

またその方は心ある方々を数知れずCPAOにつなげてくださいました。私の息子のこともいつも気にかけてくださり、公私ともにお世話になりっぱなしでした。現場主義で全国をフットワーク軽く飛び回り、身を持って行動する大切さを示してくださる尊敬する先輩でもありました。

2019年4月2日、その方は突然、お亡くなりになりました。いつものやさしい口調で私に語りかけてくださった最後の言葉でした。パソコンでこの文章を打ちながらもやさしく微笑むお顔が浮かび、もういらっしやらないと思うと胸がぎゅっとしめつけられ、涙がこみ上げてきます…。

CPAOはさらに楽しく自由になっていくはずで、これからが本番。子どもたちやお母さん方や心ある方々と共にそれらを見届け、横でずっと「いいですね～」と微笑んでいていただきたかった…。

「自分たちのまわりでコミュニティを作りたい」

2019年5月25日、「大阪子どもの貧困アクショングループ」は、設立して6年を迎え、明日から7年目の活動が始まります。昨年2018年は出版や認定NPOになるなど活動の集大成となるようなことありましたが、活動を続けられるのかという様々な危機もあり、CPAOにとって激動の1年でもありました。そして全国的にもですが、本拠地の大阪でも地震や大雨といった災害の被害に合われた方からのSOSがたくさん届いた年でもありました。

東北の大震災で日本中が思い知ったことでしたが、既存のシステムが機能しなくなった時に周りに助けてくれる人や(地縁・血縁だけでない)コミュニティを日ごろからつくっておく大切さを改めて知る機会にもなりました。

また相談も受け続けていますが、シングルマザーだけでなく、子ども・若者からの直接の相談も増えてきました。どこにも行き場がなかったり、困ったときに逃げ場がなくて困っていたり、そんな子どもたちからの悲鳴のような声が届きます。

今の世界・社会のなかで、どのようにすれば、子どもが子どもらしく「いきいき、自由に生きることができるのか？」ということ走りながら考え続けてきました。また最近では、子どもが「普通にどう育ち、暮らすことができるのか？」と、何が普通なのか分からないところでその答えの難しさがあることを思いながら、「子どもは社会で育てよう」という多様な人たちの風通しの良いつながりの中で子どもたちと向き合い続けています。

『「助けて！」って言ってもええねんで』

今年2019年度は初心に帰り、アウトリーチに力を入れていきたいと準備を進めています。しんどい状況に置かれ、孤立し、行き場のない・逃げ場のないような子ども・若者ももっとつながりたい、子どもとつながるためにも親子丸ごと、保護者とも。

つながれないかもしれない。でも「自由に誰でもSOSを出していい」という思いだけでも届けたいと、いつものように形にとらわれずアクションしていきます。

「楽しい別次元をつくらせてください」

先の心優しい活動の先輩から「今の世間では生きていけない」と託されました。まずは、目の前の子たちに、顔の見える関係の、子ども・保護者・心ある応援して下さるみなさまと共に、自分たちでいいと思うものをどんどんつくっていきたくて考えています。支部の和歌山県橋本市の古民家も自分たちで改修しています。新たにスタッフも2人雇用し、衣類や食べるものもつくっていく予定です。

ある一つのアクションが次のアクションを生み、ある人と出会ったから、次のアクションにつながっていく。大まかな方向性はありますが、まず一歩を小さく踏み出し、「次はどうしよう？」と仲間と考えながら、次の一歩を踏み出す。活動はいつもこの連続です。

「かわり・かわらない」、第2創業期を迎えたCPAO

活動当初からの思い、しんどい状況に置かれている一人ひとりの子どもとつながり、なんとか問題を一緒に乗り越えていきたいという気持ちに変わりありません。

みなさま、引き続き活動を見守り、ご支援・ご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願いたします。

大阪子どもの貧困アクショングループ代表
 認定NPO法人CPAO理事長
 徳丸ゆき子



スタッフメッセージ

「何かできることを、ずっと。そっと。」

CPAOの設立記念日が近づくと、思い起こすことはいつも同じです。

それは2013年の夏の終わり。その頃までは勉強会に参加するくらいでしか関わっていなかったCPAOで、何かできることはないかと、当時の副代表に相談しました。

それまでは、アウトリーチや調査、個別の相談など、ほんとに少ない人的リソースで、特に徳丸代表が走り回っているという印象のCPAOでしたから、当然、何かしらの補助金であったり、スポンサーが資金面を支えているのだと、勝手に想像していました。

しかしそこで聞いたのは、「全部、徳丸さんの持ち出しですよ」のひとこと。咄嗟にその場で「いやいや、それはダメやないですか」と返していました。

そこからこの活動への取り組みが変わりました。

私費を投げ打ってでも目の前の問題に取り組もうとしている人にはほとんど出会えない。なんとしてでも継続させようと、あの手この手で活動を支えてきましたが、それがいつのまにか逆にこの楽しさやチカラを支えられ、いつのまにかスタッフとして活動するまでになっていました。

でも資金繰りに関しては、やればやるほど、なぜ難しいのかが分かってきました。

CPAOの活動は、そのどれもが制度外自主事業です。何かしらの制度や枠からもこぼれてしまい、必死になって生きている子どもたちと出会ったら、なんとかしたいとあがいてしまうのがCPAOの特徴です。いったんつながれば、何かできることはないかと、ずっと待ちます。そして、ここはという時は、そっと手を出します。そんなことをひたすら繰り返しています。

見ようによっては費用対効果が悪いと言われるでしょう。しかしそれはこの先も変わることはありません。

資金面はいまだにあれこれとやりくりしながらですが、なんとしてでも楽しく自由な活動が展開できるよう、これからも仲間と模索しながら取り組んで参ります。

「私たちの代わりに、やっただきあってありがとう」

ご寄付やご支援をしてく下さる方からよく言ってく下さる言葉です。

私たちの活動も子どもの貧困から始まりましたが、それは大人も含め、この生きづらい社会でどうやって自由に楽しく生きていけるか、という課題にまで発展してきました。

昨年は「まずはごはん」として、お腹を空かせまいと、活動のたびに子どもたちにはごはんを食べてもらえるようにしてきました。

スタッフやボランティアの方々も趣向を凝らしてメニューを発案してく下さり、その名の通りの「まずはごはん」という本としてまとめて出版することができました。

「たべる」でつながる

調理のボランティアとして関わるようになり2年ほどとなりました。CPAOの今後の活動に役立つならばと2019年4月からスタッフになりました。毎週火曜日の「いくの子ども食堂」での活動と、今後はさらに子どもたちとつながっていくために、アウトリーチ活動やCPAOkitchenを担当していきます。

自分の住む地域でも子ども食堂をしていますが、そこで出会った子どもや親子をCPAOにつなげることで、「たべる」ことだけでなく、「あそぶ」「まなぶ」こともできるようになりました。二人きりで不安ばかりだった親子が、親も子もCPAOのイベントを楽しみに待っていてくれ、少しずつでも前向きになってきていると感じています。子どもはもちろん、親の変化を感じられることがとてもうれしいです。

今後は親を巻き込んだり活動や、子どもたちを連れてイベントでの出店など、楽しみながらできそうなことを考えています。とにかく手を動かして試して考えて、子どもたちの喜ぶ顔が少しでも多く見られるようにがんばります。

NPO法人CPAOスタッフ津守佳代子

また、認定NPO法人を取得することができました。

活動の内容は変化を加えながらも、根本の子どもたちへの視点はブラさず、学び進めてくることができ、それを評価していただけたのではないのでしょうか。

活動が多様化し、様々な事情から多くは語れませんが、そんな中でも少しずつ形あるものとして活動を見えるように奮闘している私たちの思いを分かってく下さっているのか、とてもありがたいお声かけでありました。

子どもたちのニーズをとらえて、そこに応えていくには、共に過ごしたり、ひたすらに見守っていく時間と目と手、そしてそれを支える資金が必要です。私たちは子どもたちと共に時間を過ごしなが、最善を目指してその目と手を日々学ばせていただいております。

そんな活動を支えていただける資金や物資をご提供して下さるみなさまには、心から感謝が尽きません。普段は活動の忙しさから、なかなか丁寧にお伝えすることができておりませんが、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

CPAOはこの5月で7年目。

「まずは1年やってみたくて」と代表の徳丸が語っていたあの頃から、かなりの回り道も経りましたが、そのひとつひとつがなかなか楽しく経験がたいものであり、こうやってワクワクしながら活動が続けられております。

この先も何が待っているかは分かりませんが、CPAOの本質は変わりません。

私たち自身が楽しみながら、子どもたちを巻き込んだり珍道中となりますが、これからもぜひよろしくお願いたします。

NPO法人CPAO事務局長 兼松徹



「共に成長する」

2019年の4月からスタッフとして携わることになり、アウトリーチプロジェクトのしゅくだいカフェ・CPAOkitchenと大きく三つの業務を担当しています。

作った料理を美味しく食べている姿や、教えた問題がわかった時の笑顔はみんなキラキラと輝いています。私は前職で、1年半の間、放課後の学習支援をしていましたが、日常には5教科で測れない子ども達の成長がたくさんあることに気づきました。

CPAOでは、子どもたちが自分たちで食事を作ったり、食べた後の食器を自分たちで洗ったり、みんなが楽しくなるようにルールを提案してくれたり、時には失敗してしまうこともあります。それもまた次への学び、しっかり次に活かして、出来たら見せに来てくれます。そんな様子を保護者のみなさま、ボランティア、スタッフみんなで見守りながら共に進んでいます。

色々な子どもたちがいて、それぞれ色々な成長をしていきます。その成長に大小はなく、私たちが一人一人と向き合い一緒に学んでいくことが大切だと感じます。私自身スタッフとしてまだまだ力不足ではありますが、たくさんを学び成長していきたいです。

どうしたらもっと面白い活動ができるか、どうやったらもっといい場が作れるか、みなさまの思いに応えられるよう日々全力を尽くして参ります。これからもどうぞよろしくお願いたします。

NPO法人CPAOスタッフ八杉祐介

2018年活動報告: マンスリーレポート

*以下に記載したものに合わせ、毎月ごはん会、しゅくだいカフェを週3回、随時、相談・サポートを実施することができました。日々の活動の主なものをご報告いたします。

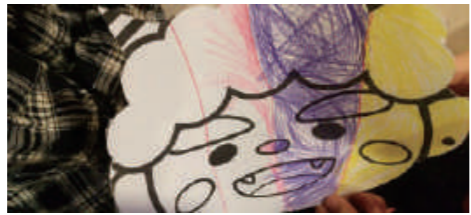
1

- 2017年12月29日～1月2日 CPAO くらぶ年末年始ツアー@はしもととランチ
- 4日 CPAO くらぶ新年会 お昼ごはん・お楽しみ会・夜ごはん
- 6日 CPAO くらぶ子ども個別ヒアリング調査/面白かったこと・これからやりたいこと
- 13日 CPAO くらぶ遠足@はしもと里山 どんど焼・猪肉 BBQ
- ◆ 5日『まずは ごはん』出版企画書完成
- ◆ 11日 講演@府立貝塚高校人権研修
- ◆ 21日 戦略会議・アクションプラン作成/理事&スタッフ
- ◆ 23日 講演@宝塚市人権男女共同参画
- ◆ 24日 小平市議会連視察受入れ
- ◆ 26日 助成金贈呈式/損保ジャパン
- ◆ 29日 生野子育て社会化研究会会議
- ◆ 31日 講演@八尾市経済環境部



2

- 18日 CPAO くらぶ遠足@はしもと里山
- ◆ 3日 講演@第18回ローズWAMまつり/茨木市
- ◆ 5日 食品衛生責任者講習会受講
- ◆ 6日 自治労名古屋視察受入れ
- ◆ 7日 ケース会議/生野子育て社会化研究会
- ◆ 11日 講演@NPO 法人明るい社会づくり運動ひょうご
- ◆ 14日 地域こども支援団体連絡会参加/生野区
- ◆ 17日 講演@子どもの心の診療拠点ネットワーク/兵庫県医師会
- ◆ 23日 共生ケア推進委員会参加/生野区社会福祉協議会
- ◆ 26日 ケース会議/生野子育て社会化研究会
- ◆ 28日 講演@大阪教育大学柏原キャンパス
- ◆ 総会・認定NPO法人取得準備



3

- 2日～3日 CPAO くらぶお泊り会@はしもととランチ
- 16日～18日 CPAO くらぶお泊り会@はしもととランチ
- 27日～4月8日 CPAO くらぶスプリングスクール
- 28日『まずは ごはん』出版写真撮影・CPAO 子どもたちとの協働
- 31日 CPAO くらぶ進級・進学・就職お祝い&お泊り会@たつみファクトリー
- ◆ 3日 大阪教育研究会緊急集会・発表/大阪市・エル大阪 *生活保護引き下げ反対
- ◆ 9日 講演@国際女性デー実行委員会/金沢市
- ◆ 11日 NPO 法人 CPAO 年次総会
- ◆ 12日 ケース会議/生野子育て社会化研究会
- ◆ 14日 ケース会議/生野子育て社会化研究会
- ◆ 19日 講演@兵庫県立三木東高等学校
- ◆ 21日 講演@子どもの貧困と地域支援国際シンポジウム/大阪市立大学杉本キャンパス
- ◆ 24日 講演@兵庫県社会福祉士会総会
- ◆ 26日 生野子育て社会化研究会会議

4

- 1日～3日 CPAO くらぶスプリングツアー@ファクトリー&はしもととランチ
- 1日 CPAO くらぶ遠足@なにわ人形芝居フェスティバル *三帰会/おてらおやつくらぶさまよりチケット提供
- 2日 CPAO くらぶ遠足/お花見@はしもと
- 4日『まずは ごはん』出版写真撮影/CPAO 子どもたちとの協働
- 11日『まずは ごはん』出版写真撮影/CPAO 子どもたちとの協働
- 22日 CPAO くらぶ遠足@はしもと里山/餅まき参加
- 2日 キューピー助成金授与式/東京
- ◆ 20日 子育てサポーター養成講座/生野子育て社会化研究会
- ◆ 25日 学童期の子ども支援連絡会参加/生野社会福祉協議会
- ◆ 26日 ケース会議/生野子育て社会化研究会



5

- 3日～5日 CPAO くらぶ GW ツアー@はしもと里山キャンプ
- 23日 RemakeCPAO *お母さん方の衣類リメイクプロジェクト
- 26日 CPAO くらぶ遠足
- ◆ 14日 生野子育て社会化研究会会議
- ◆ 19日 講演@神戸市民病院内保育園研修
- ◆ 21日 講演@講演 M&C (マザー&チャイルド) ネットワーク/大阪市
- ◆ 23日 学童期のこども支援連絡会参加/生野社会福祉協議会
- ◆ 28日 生野子育て社会化研究会/プレーパーク実行委員会

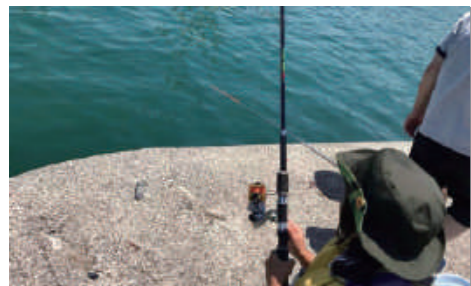


6

- 1日～3日 CPAO くらぶお泊り会@はしもととランチ
- ◆ 6日 プランインターナショナルジャパン視察受け入れ
- ◆ 10日 講演@『隣の人』上映会 & トーク/東京・ポレボレ東中野
- ◆ 13日 生野子育て社会化研究会/プレーパーク実行委員会
- ◆ 14日 講演@浪速高等学校中学校職員研修/大阪市
- ◆ 15日 生野子育て社会化研究会/子育てサポーター養成講座
- ◆ 16日 子どもの貧困対策センターあすのば 評議委員会参加
- ◆ 18日 講演@神戸市保育園連盟研修会
- ◆ 20日 学童期のこども支援連絡会/生野社会福祉協議会
- ◆ 22日 CPAO くらぶサマーツアー新宮市視察
- ◆ 23日 講演@篠山産業高等学校 インターアクト部
- ◆ 24日 講演@二十五三味会/にじゅうござんまいえ@岡本寺・川西市
- ◆ 26日 講演@日本キリスト教団主恩教会/神戸市
- ◆ 29日 生野子育て社会化研究会/子育てサポーター養成講座

7

- 29日～8月10日 CPAO くらぶサマーツアー@たつみファクトリー・はしもととランチ・新宮
- ◆ 3日 講演@大阪府教育研究会/大阪市
- ◆ 4日 生野子育て社会化研究会会議/プレーパーク
- ◆ 6日 佐賀県出張/プランインターナショナルジャパンとの協働 *台風の影響で広島で足止め、中止となりました。
- ◆ 9日 はしもとニューランチ物件取得
- ◆ 14日 講演@奈良県河合町/差別をなくす町民集会
- ◆ 14日「ボナペティ」視察受入/福岡県久留米市より
- ◆ 18日 学童期のこども支援連絡会/生野社会福祉協議会
- ◆ 27日 講演@橿原市人権教育研究会



8

- 7月29日～8月10日 CPAO くらぶ サマーツアー@たつみファクトリー・はしもととランチ・新宮
- 19日 よるだんひろばプレーパーク *生野子育て社会化研究会との協働事業
- 23日～26日 CPAO くらぶ サマーツアー2 @はしもととランチ
- ◆ 15日『まずは ごはん』出版!!
- ◆ 21日 ケース会議/生野子育て社会化研究会
- ◆ 23日 学校・教育を考える勉強会/ニュースタート事務局関西との協働
- ◆ 29日 講演@大阪暁光高等学校



9

- 1日 CPAO5周年&出版記念イベント/ばだんホール
- 2日 自主イベント・釜ヶ崎スタディツアー・川崎ふれあい館の若者らと
- 7日～9日 CPAO くらぶ 週末里山お泊り会@はしもととランチ
- 15日 CPAO くらぶ 保護者ワークショップ@ファクトリー/Dog's Smile さん
- 21日～23日 CPAO くらぶ週末里山お泊り会@はしもととランチ
- 29日～30日 CPAO くらぶ週末里山お泊り会@はしもととランチ
- ◆ 7日 大阪市の認定を受け認定NPO法人取得
- ◆ 10日 生野子育て社会化研究会会議
- ◆ 18日 講演@御所市ふれあい人権セミナー
- ◆ 19日 橋本市子どもサポート集い参加
- ◆ 19日 講演@生野ライオンズくらぶ



10

- 5日～7日 CPAO くらぶ週末里山お泊り会
- 19日～21日 //
- 27日 CPAO くらぶハロウィンパーティー
- ◆ 9日 講演@大阪府人権総合講座
- ◆ 12日 講演@浄土宗近畿地区 児童教化連盟研修会/奈良市
- ◆ 31日 プレスセミナー/生野子育て社会化研究会@ばだん/生野区
- ◆ 「親子丸ごとサポート」クラウドファンディング企画開始
- ◆ 大阪市への政策提言準備/生野子育て社会化研究会との協働



11

- 2日～4日 CPAO くらぶ 週末里山お泊り会
- 16日～18日 //
- 30日～12月2日 //
- 11日 CPAO くらぶ遠足 保護犬ミーティング・ピクニック
- ◆ 9日 講演@大分社会福祉協議会
- ◆ 20日 講演@保育士研究/箕面
- ◆ 21日 学童期の子ども支援連絡会参加/生野区社会福祉協議会
- ◆ 22日 講演@大阪市職員人権問題研修
- ◆ 23日 きのくに子どもの村視察/橋本市
- ◆ 26日 講演@新宮市社会福祉協議会
- ◆ 26日 大阪市への陳情書提出/生野子育て社会化研究会・「児童虐待に関する官民連携について」
- ◆ 28日 講演@大阪市職員人権問題研修
- ◆ 29日 大阪市教育子ども委員会議員面談/生野子育て社会化研究会
- ◆ 2019年度 CPAO くらぶカレンダー作成開始

12

- 8日 学校・教育を考える勉強会/ニュースタート事務局関西との協働
- 22日 CPAO くらぶ クリスマス会@たつみファクトリー
- 24日～27日 CPAO くらぶ しゅくだいカフェ合宿@はしもととランチ
- 25日～1月8日 CPAO くらぶウィンタースクール@たつみファクトリー
- 28日～1月7日 CPAO くらぶ年末年始ツアー@はしもととランチ
- ◆ 5日 講演@ JA 共済連/大阪市
- ◆ 6日 大阪市議会傍聴/教育子ども委員会・11/26の陳情書を提言書に変え提出、議題にあがったため
- ◆ 13日 講演@吹田市児童部保育幼稚園
- ◆ 15日 クラウドファンディングスタート(～1/27)・自主イベント活動報告会@たつみファクトリー
- ◆ 16日 自主イベント@那覇市・「子ども食堂をこえて」・那覇市社会福祉協議会・しんぐるまざあずふぉーらむ沖縄
- ◆ 25日 児童虐待に関する懇談・国会議員・大阪府・市議会議員@たつみファクトリー
- ◆ 27日 児童虐待に関する懇談・国会議員・大阪府・市議会議員@たつみファクトリー 懇談・大阪市こども青少年局

CPAO くらぶ / 子どもサポート

ごはん会
週3回、放課後、活動拠点たつみファクトリーにて、近隣児童および保護者、土日は大阪市以外の親子も参加。一回平均20人、イベント時は50人から60人の参加。必要に応じて送迎を行い、ボランティアによる手作りの食事を提供。長期休みごとに週3回、昼食・夕食・おやつを提供し、翌日のごはんなどの持ち帰りも提供した。また、拠点に来られない子どもたちのために月1回、食事を自宅に届けることができた。それ以外の食事を含む季節ごとのイベントも行った。

しゅくだいカフェ
たつみファクトリーにて、ボランティアによる学習、その他の習い事のサポートも行った。ピアノ部・はたけ部・工作部・カメラ部・つり部・柔道部・スイツ部・手芸部・農×芸部など、子どもたちの自主的な活動へと広がった。



里山体験
親が仕事で忙しい、体調が悪といった理由で様々な機会が少ないといった子どもたちを中心に、自然豊かな中で運動や遊び、生活体験を行った。和歌山県橋本市周辺でのキャンプでは、ホテル観賞会や田植え体験、虫採り、夏はプールや海で泳いだり川遊びなどの機会を提供した。



家庭サポート
依頼者宅へ訪問、またはメール、SNS、電話などで、相談、生活・就労支援、行政等への同行支援、ショートステイサービスを行った。個別ごはん会の実施や、清掃や調理や引っ越し等の家事サポートも行った。



大阪子どもの貧困アクショングループ / 政策提言・協働事業

協働事業「生野子育て社会化研究会」
2016年より大阪市、主に生野区に暮らす子どもたちや家庭の実態を知り、待たなしの子どもたちにより有効な支援を進めていくため、「調査・研究・実践・政策提言」を行っている。
構成メンバー：本活動趣旨に賛同し、本活動に参画する、実践者・団体、研究者など有志。
2ヶ月に1回の会議。今年度は、研究会の参加団体や関係する地域の個人・団体と連携して、困難な状況に置かれている子どものケース会議も随時行った。CPAOの自主活動だった、月1お父さん(民間の里親)事業を研究会で拡げていこうと、専門家の方を講師にお呼びし、子育てサポーター養成講座(3回)を行った。夏休みには、自治会・子ども・子育てプラザ・生野社会福祉協議会にも協力いただき、プレーパーク*を行った。参加した子ども・親子がその後、CPAOの「ごはん会」にも参加したり、サポートにつなげたりすることもできた。

*プレーパーク：子どもがやりたいことを実現できるようにしていく遊び場。
また12月には、大阪市民議会議長宛に、大阪府に政府「児童虐待防止対策」を機能させるための民間支援者との協働を求める陳情書を提出した。

Diggin' CPAO / PR

今年は特に事業を優先し、可能な範囲で講演活動を行った。寄付者・支援者に対して、NPOの活動を伝えるために活動の様子を撮影した写真を使ったカレンダー・ニュースレターや活動報告書を作成し、郵送やメールで送付した。また、活動の認知度向上・広報活動のため本を出版した。2018年9月7日付で「認定NPO法人」を大阪府より取得することができた。

緊急サポート / 大阪北部地震・台風24号直撃

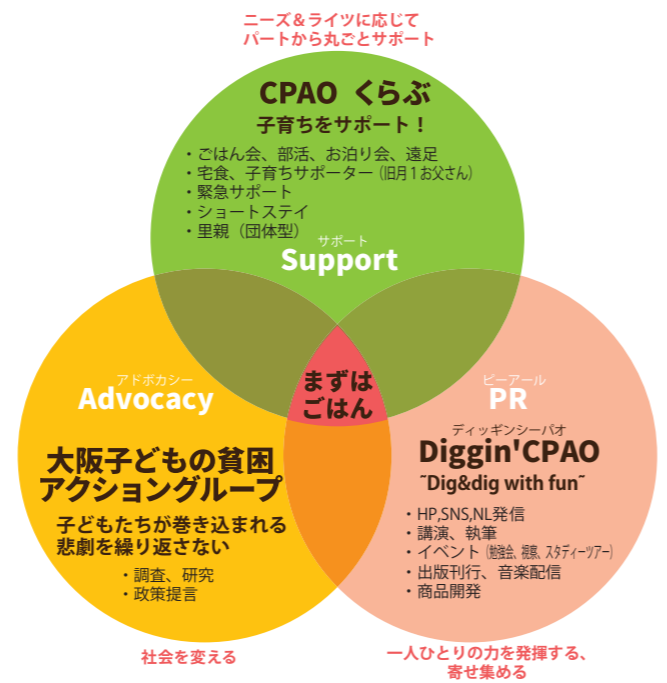
2018年度は、全国的に災害が多く、大阪の関する親子にも多数の被害をもたらした。CPAOでは、特に被害のひどかった地域の孤立しがちな親子に即、連絡を取り、地震後、部屋の片づけや掃除の協力をしたり、親の仕事が再開してから休園・休校の間、子どもだけで不安だという子たちと一緒に過ごしたりした。また全国から企業・個人の方々からのお心寄せが届き、食料の発送や宅配を行った。
*食糧などをお届けしたシングルマザーの方の声を紹介いたします。

台風、CPAOや大阪のみなさんは大丈夫でしたか？
こちらは電気と水道が止まりましたが、数時間で復旧しました。
子どもたちは今日から学校再開しています。
近くの小学校はまだ電気が通ってなくて休校になった所も。
こないだ送って頂いたピラフなどが、心強くてお守りになりました。
ありがとうございます。

今日、お米やら沢山届きました！
本当に助かります。
息子もお菓子に喜んでますもう高2なのに。。。
非常食もあって、気持ち少し安心できました。
ありがとうございます(^^)

今朝はありがとうございました。
夕方、スーパーに行きました。普通に夕飯の食材を買う為に。
で、気づいたんです。
あー備蓄する余裕なく、そして、備蓄する為に使えるお金がないやっ、って。
ちょっと切なくなりましたが、私にはもしもの時は助けてくれる人がいるって考えると笑えましたよ。ありがとうございます。

CPAO が展開する事業3領域
「まずはごはん」を中心にささえ合う
コミュニティづくり
子どもはみんなで育てよう！



CPAOくらぶ 11月スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
			1 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	2	3 週末里山留學 (お泊り会/リノベーション &はしもと里山学校?)	4 午前10時～移動 橋本→生野
5	6 オープンデー ◆宿題カフェ午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	7 宿題カフェ+ 午後5～9時 (中学生以上) *軽食あり	8 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	9	10	11 △遠足/ 観音寺?
12	13 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	14 宿題カフェ+ 午後5～9時 (中学生以上) *軽食あり	15 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	16 午後5時～移動 生野→橋本	17 週末里山留學 (お泊り会/リノベーション &はしもと里山学校?)	18 午後10時～移動 橋本→生野
19	20 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	21 宿題カフェ+ 午後5～9時 (中学生以上) *軽食あり	22 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	23	24 オープンデー ◆軽食 午後2～3時 ◆部活/合唱部 午後3～5時 ◆ごはん会 午後5～7時	25 お誕生会♪
26	27 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	28 宿題カフェ+ 午後5～9時 (中学生以上) *軽食あり	29 オープンデー ◆宿題カフェ 午後4～5時 ◆ごはん会 午後5時～7:30	30 午後5時～移動 生野→橋本	12/1 週末里山留學 (お泊り会/リノベーション &はしもと里山学校?)	2 午後10時～移動 橋本→生野

*CPAOくらぶとは？
CPAOは、「Child」「子ども」・PAOは、「Parent」「親」という意味で、子どもたちが気軽に来れる居場所をつくっています。
子どもたちと遊んだり・ごはんを食べたり・勉強したり・お泊りしたり、保護者の方々も一緒に、ひとりのやりたいことをかなえたり、のびのび過ごせる場所をつくっています。大阪府生野区のたつみファクトリーを中心に、和歌山県橋本市の里山で過ごしたりもしています。
参加したい方は、メンバー登録が必要です。参加申込書をお渡ししますので、活動日に来てください。
たつみファクトリー住所：大阪府生野区箕野1-4-3 メールアドレス：info@cpao0524.org TEL：06-6753-7204



2018年数字で見る活動報告



活動全体コメント
2018年度の活動は拠点たつみファクトリーの活動が安定し、新たに和歌山県橋本市に物件も取得し、都会と自然の中での活動もバランスよく子どもたちにも様々な機会を提供できるようになりました。ですが一方、関わっている子どもや保護者の方に、次々に様々なことが起こり、なんとか一緒に乗り越えたいとサポートに追われる1年でもありました。これからもさらに出会った「一人ひとり」大切にできるよう、まだ出会っていない子どもたちに出会い、「子育てをサポート」できるよう活動を続けていきたいと思えます。

メディア掲載&寄稿報告

- 2月18日 神戸新聞朝刊「子どもの心の診療拠点ネットワーク」主催のシンポジウム取材記事
- 3月 月刊誌 婦人友友 5月号 活動取材記事
- 4月13日 生活保護のリアル(ダイヤモンドオンライン) 生野子育て社会化研究会についての紹介記事
- 6月25日 神戸新聞 川西市講演取材記事
- 8月3日 毎日新聞大阪版朝刊『まずはごはん』紹介
- 9月12日 朝日新聞夕刊『まずはごはん』紹介
- 10月 季刊誌『つなぐ つながる』ネバリバザー『まずはごはん』紹介
- 10月8日 しんぶん赤旗『まずはごはん』書評
- 11月2日 共同通信配信記事/静岡新聞・福井新聞・宮崎日日新聞・山陰新聞・愛媛新聞・長崎新聞・大阪日日新聞 映画『隣の人』ポレボレ東中野/東京 トークイベント取材記事
- 12月 雑誌女性のひろば1月号『まずはごはん』書評
- 12月4日 毎日新聞夕刊 子ども食堂関連徳丸コメント
- 雑誌 議会と自治体12月号『まずはごはん』書評
- 年金者しんぶん12月号『まずはごはん』書評
- 2019年春号『通販生活』(カタログハウス)『まずはごはん』紹介記事
- 12月27日 しんぶん赤旗 児童虐待防く連携必要 取材記事

*その他、月刊雑誌福祉のひろば12回連載記事寄稿



特集 子どもの声

①子どもの権利ワークショップより

*佛教学の武内一先生にお声がけいただき、グローバル子どもの権利（GCR）という世界的に行われた企画に参加させていただきました。そのワークショップでの子どもたちの声をご紹介します。*今回は子どもの権利条約の28 & 29条と31条について話してもらいました。

第28条 教育を受ける権利

子どもは教育を受ける権利をもっています。国は、すべての子どもが小学校に行けるようにしなければなりません。さらに上の学校に進みたいときには、みんなにそのチャンスが与えられなければなりません。学校のきまりは、子どもの尊厳が守られるという考え方からはずれるものであってはなりません。

第29条 教育の目的

教育は、子どもが自分のもっている能力を最大限のばし、人権や平和、環境を守ることなどを学ぶためのものです

第31条 休み、遊ぶ権利

子どもは、休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利をもっています。

*子どもの権利条約 日本ユニセフ協会抄訳より

*どんなことが教育を受ける権利なのだろうか？

*どんな時、守られていないのか？

*誰が守っていないのか？

*誰が守られていないのか？

1. 学校は楽しいか？

→つまらない 楽しくない

理由：授業がつまらない（意味が見つけられない）

先生に面白みがなく嫌い

友達などとの人付き合いが面倒くさい

2. どんなことが教育を受ける権利なのだろうか？

- 人としてなど、色んなことで力を発揮できるように成長すること
- 子どもはもっと遊ばせるべきだ

3. どんな時、学ぶ権利が守られてないと思うか？

- 自分が嫌なことがあった時、ちゃんと解決してもらえず、学校が楽しくなくなっていき、学ぶ気がなくなった時
- 少数派の自分の意見を反映してくれていない。
- 中学の部活動の時間が平日夜7時くらいまで週末も練習があり、人間の活動時間と学校の時間があってない。
- 脅すような注意のされ方を教員からされた時
- 子どもに注意する時、子どもの言い分を聞いてくれない時
- 忘れ物をした時などに、給食のお代わりを禁止するなどの罰を与え過ぎない
- 2つ目の話し合いは、守られているとわかるためにはどうすればいいのか？守られていないことをどうすればはっきりさせられるのか？守られているための基準はあるのか？

4. 教育の権利が守られているとわかるにはどうしたらいいか？

- 学ぶ権利を一度なくせば、当たり前だったモノやコトの有難みや大切さがわかる
- おかしいと思ったことを、先生や友人に聞いてみる
- でもその前に、教育の権利のことを知るようにして、自分で考えてみる
- うっとうしいくらい教育を受ける権利を強くする
- みんなで知るようにして、みんなで考えて、みんなで理解する
- 自分が思ったことや、いだいた感情を世界に訴えることができるか
- 必要な情報や必要のない情報や色んな情報があるけれど、情報がありすぎて学ぶことに飽きていたり、なさすぎて飢えていたりする

5. 政府が義務を果たしているかをどうやって知ることができるか？政府に義務を果たさせるために何が必要か？政府のやらないといけなことをあげてみよう

みんなが楽しく学べる環境が整っているかどうか

- 政府に子どもの意見を聞き入れさせるために、メディアに訴える
- 教育が必要ないと思っているから学校で遊びたいかと思ってしまう。だから、政府や学校は教育をする理由（目的）を子どもたちにまず伝えた方がいいと思う。



条文 31 条

1. どんなことがこの権利に当てはまるのか？

絵やぬり絵を描くこと

ゲームをすること

ドッチボールをすること

友だちをつくること

友だちと遊ぶこと

ダンスすること

鬼ごっこやかくれんぼすること

スケボーすること

読書すること

歌うこと

ピアノを弾くこと

2. どんな時に守られてない？

帰宅の門限がある（子どもはもっと遅くまで遊びたい 親はそれは困る）

遊んでいるだけでなくそのほかの生活の時間も必要で、それで遊びの時間が制約される

宿題が終わらない時

忘れ物をしてペナルティーで遊び時間が減らされた時

やりたい遊びにお金がかかる場合は、それが遊べる上限になる

3. 誰が守ってない？

お父さんやお母さん、それに学校の先生

4. 守られているための基準はどんなこと？

宿題を出さないこと

学校に携帯電話を持っていけないこと（授業中はなしでいい）

楽しい授業時間を過ごせるようにすること

学校の休み時間を増やすこと

学校に持っていったいいものを増やすこと（漫画やトランプなど）

部活の時間を減らして遊べる時間を増やす

5. 政府がやるべきことを挙げてみよう

もっと木を植えるなどして自然の中で遊べるようにする

公園や遊び場を増やす

きれいな空気してくれたら、もっとたくさん元気に外で遊べる

授業のコース（例えば、ゲームコースや漫画コース）をいくつかつくることで、楽しく集中できる授業をつくる

勉強ができる場所をつくってほしい

休み

武内先生コメント

困難を抱える子どもたちが多い中ですが、みんな精一杯考えてくれたのが伝わってきました。

スタッフのコメント

3時間ほどの長丁場でしたが、武内先生からのおいしいケーキなどの差し入れもあり、楽しんで取り組んでくれました。また改めて子どもたちの毎日の忙しさを知りました。学校でも家でもない、ホッとできる場所、たくさん思い思いに遊べる時間をつくってほしいと思います。

②子どもの声 たからもの・大切なもの 2019年3月進級・進学イベント

①去年がんばったこと

②今年やりたいこと

③宝もの・大切なもの

①国語の勉強をがんばった（5年・男）・スポーツとくにサッカー（小6・男）・外遊びとかうんどう（小3・女）・スイミング（1年・女）・吹奏楽（中1・女）・ひとのえをかけたこと（保育園年長）・みんなと走ったりして楽しいから体育（小4・女）・さんすうのくりあがりとかりさがり（小2・女）・みんなとあそぶこと（小1・女）・つり（中2・男）

②楽しいからCPAOのキャンプ、川とかまた行きたい（5年・男）・ゲーム（小6・男）・ピアノ（小3・女）・しゅくだいを100てんとる（小1・女）・みんなで楽しかったから、CPAOで前にやった山のぼり（小4・女）・外でねれるからキャンプ（小2・女）・難しいからあやとり（小1）・いったことないからキャンプ（小6・女）・あまりいかれんから海釣り（中2・男）

③スイッチしかないからスイッチ（5年・男）・おもしろいから大らんとう（小6・男）・おもしろいからスーパーマリオパーティ（小3・女）・ドラゴンボールのカード（小1・女）・遊んでくれる友だち（中1・女）・メルちゃん（保育園年長）*CPAOの支援者の方からいただいたものを持って帰ってもらいました！ほっぺたがまるでかわいいから、ピカチュウのぬいぐるみ（小4・女）*これも支援者の方からのご寄付です。子どもたちは自宅で大切にしているようです。遊ぶのが楽しいからともだち（小1・女）・いなくなったら困るから家族（小6・女）・お父さんにかつてもらったから釣り道具（中2・男）



<認定 NPO 法人 CPAO 活動趣意>

子育てをサポート！子どもには自分で育つちからがあります。そのちからを様々な原因で奪われている子どもがいます。子どもが育つ環境をおとなや社会はどう整えることができるのでしょうか？ 私たちは周りのおとなと共に、よりしんどい状況に置かれている子どもを中心に「まずは、ごはん！」からつながり、みなで「子どもの育ちをサポート」できる社会を目指し、活動を展開していきます。CPAO (シーぱお・C = Child, 子ども・PAO = 家)

制作・企画

認定 NPO 法人 CPAO

〒544-0003 大阪市生野区小路東 6-3-3

<http://cpao0524.org>

<https://facebook.com/cpao0524>

[mail:info@cpao0524.org](mailto:info@cpao0524.org)